

INPIT知財戦略部のシームレスな知財支援

Seamless IP management services of National Center for Industrial Property Information and Training (INPIT)



独立行政法人工業所有権情報・研修館（INPIT） 知財戦略部長

鷺崎 亮

2004年特許庁入庁（審査第一部）。特許審査・審判に従事するほか、審査推進室、文部科学省、スタンフォード大学客員研究員、品質管理室、産業技術総合研究所、審判企画室を経て、2023年4月より現職。

1 はじめに

独立行政法人工業所有権情報・研修館（INPIT）は、2024年度から第六期中期計画に基づく運営を開始し、「知財エコシステムを支える知財課題発掘 - 知財形成 - 知財の戦略的活用のワンストップ支援」を、組織の第1の柱として掲げた。中小企業等に対する知財支援が、組織の業務の一丁目一番地として位置付けられたということであり、その一端を担う立場として大変身が引き締まる思いである。

INPITでは、「知財総合支援窓口」を47都道府県に設置して中小企業等における知財の課題発掘から知財の戦略的活用まで各種相談に対応するほか、私の所属する知財戦略部では、大学、国プロ、スタートアップ、海外展開、営業秘密管理、IPランドスケープ等に関する専門的な知財支援や各種知財情報を提供している。本稿では、当部が提供する支援サービスの最新状況等について紹介する。

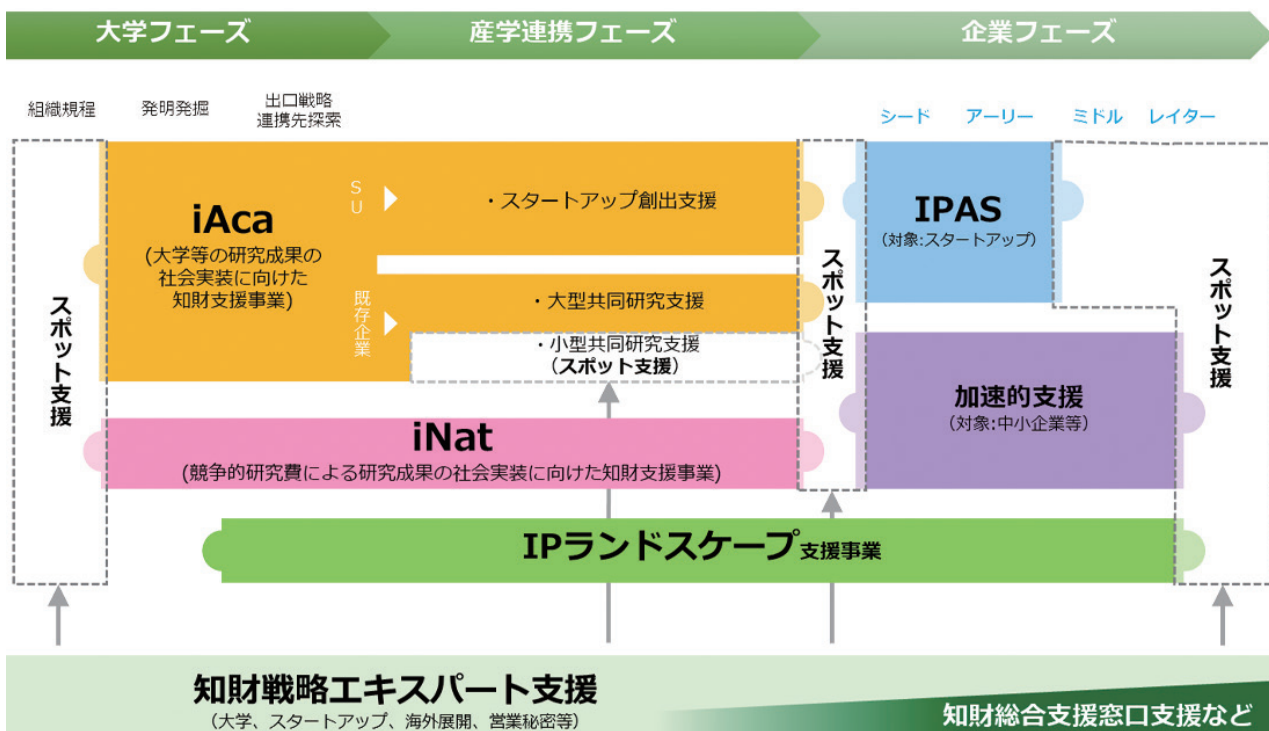


図1 シームレスな知財支援の実現

2 シームレスな知財支援の実現

2.1 知財戦略部の支援コンセプト

2024年度より当部の提供する知財支援を大きく模様替えした。具体的には研究シーズの発掘から企業による事業展開まで、あらゆるフェーズでのシームレスな知財支援を実現するべく、各支援が有機的に繋がるように見直した。

公募型支援としては、「知財戦略プロデューサー」を派遣して知財支援を実施する iAca（大学等向け）、iNat（国プロ向け）、IPAS（スタートアップ向け）を新たに開始するほか、事業や研究開発の方向性を見極めるための IP ランドスケープ支援事業も引き続き実施する。iAca、iNat、IPAS では各種戦略の策定やパートナー企業の探索に必要となる特許分析等の支援も含む。

一方、公募型支援だけでは支援の切れ目がどうしても生じてしまうところ、公募型支援を終了した者や不採択となった者、支援が至急必要な者については、INPIT 内部で雇用する高度専門家である「知財戦略エキスパート」が、機動的にスポット支援を行う体制を整備した。各支援については後述する。

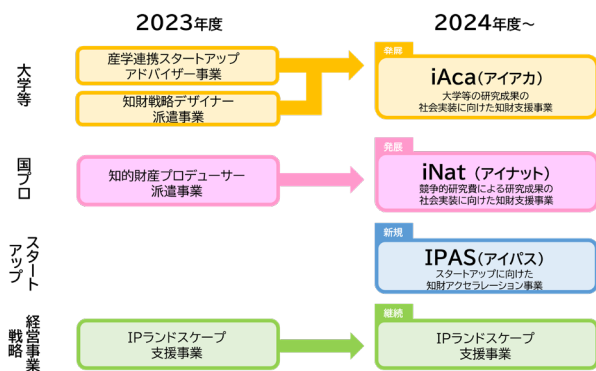


図2 2024年度からの公募型支援

2.2 IP ランドスケープ支援事業

新たな価値の創出には、さまざまな情報を収集し、それに基づいて自社の強みを価値につなげる方法を検討することが重要である。リソースが豊富な大企業であれば、高価なレポートの購入、専門家へのヒアリング、外部コンサルタントの活用など多彩なアプローチが可能だが、リソースが限られた中小企業にとって、これらは決して容易なことではない。中小企業等の抱える経営や事

業の課題に対して強みを活かした解決策の提案を行うために、当部では IP ランドスケープ支援事業を 2022 年度に開始し、2023 年度までに約 200 件の支援を実施してきた。

そして、支援を通じて得られた知見を、「市場・戦い方・連携相手を見極める IP ランドスケープマニュアル」として取りまとめ、2024 年 4 月に INPIT のウェブサ



独立行政法人工業所有権情報・研修館
INPIT
National Center for Industrial Property
Information and Training

図3 IP ランドスケープマニュアル

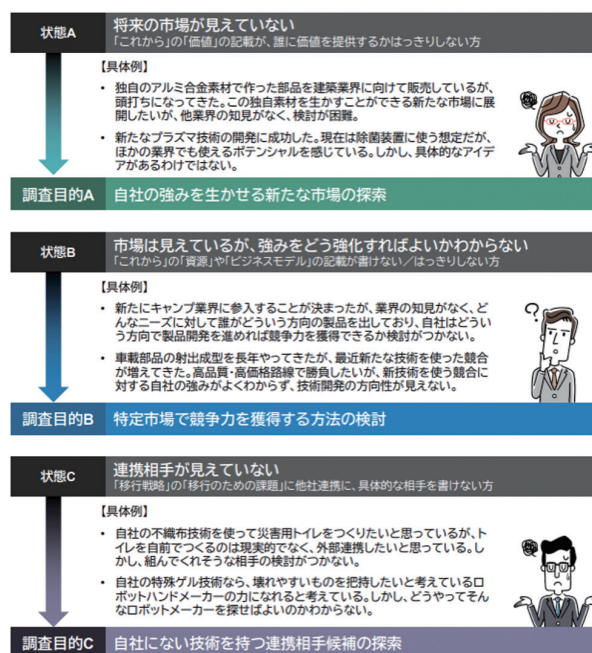


図4 ニーズの高い3つの調査目的

イトで公表した。本マニュアルは、リソースの限られる中小企業であっても、効果的・効率的なIP ランドスケープを実施するためのポイントを紹介するとともに、支援事例等も掲載している。支援先が求める調査目的を類型化したところ、「自社の強みを生かせる新たな市場の探索」、「特定市場で競争力を獲得する方法の検討」、「自社にない技術を持つ連携相手候補の探索」の3つが全体の94%を占めたことから、本マニュアルはこれら調査目的に対応した内容としている。

中小企業におけるIPランドスケープのポイント

IPランドスケープは「目的」ではなく「手段」です。IPランドスケープにより、新たな価値の創出につながる経営判断やアクションを取ることが目的です。そして、中小企業が経営判断やアクションにつながる効果的なIPランドスケープを実施するために押さえるべきポイントは、以下の3点です。

1. 経営者が将来のありたい姿を検討する
2. 調査目的を明確・適切に設定する
3. 調査目的を達成するために適切な調査を実施する



図5 中小企業におけるIPランドスケープのポイント

本事業は、2024-2025年度も10回程度公募を行い中小企業等がIPランドスケープを活用する機会を広げるとともに、マニュアルの一層の充実化を図る予定である。また、支援においては、経営層が意思決定やアクションに調査結果を活用する事を重視しており、採択後は以下の流れで進めることとしている。

1. 支援先の課題を踏まえた、調査方針のすり合わせ
2. 専門家による調査 / 分析
3. 調査経過の報告・議論（深掘りすべき領域等をすり合わせ）
4. 調査結果の報告・今後のアクションに関する議論

なお、本事業は、中堅・中小企業、大学・公設試験研究機関等の研究機関等を対象としており、分析対象となる情報は原則公開情報である。採択から報告会まで3か月程度を見込んでおり、調査結果は採択された支援先のみに表示し、採択先の許可なく第三者に表示されることはない。応募をご検討される際には、INPIT ウェブサイトで詳細をご確認いただきたい。

2.3 iAca (アイアカ ; 大学等向け)



図6 事業ロゴ

2024年度から新たに実施するiAca(大学等の研究成果の社会実装に向けた知財支援事業)は、INPITがこれまで蓄積してきた知財支援ノウハウを広く活用し、国内の大学、高専、国立試験研究機関の研究成果の迅速な社会実装を支援することにより、イノベーションの実現を目指すことを主たる目的とする。

iAcaでは、知財マネジメントの専門家である知財戦略プロデューサーを大学等に派遣して、有望シーズの発掘・活用支援(スキーム①)、スタートアップ創出支援(スキーム②)、企業との大型共同研究支援(スキーム③)を実施する。いずれの支援スキームにおいても、採択後に作成する支援計画に基づいて知財戦略プロデューサーが約10か月間、知財支援を行う。また、支援期間中に行う継続審査を通過することで、切れ目なく次の支援期間も継続して支援を受けることが可能となる。

2.4 iNat (アイナット ; 国プロ向け)



図7 事業ロゴ

iNat(競争的研究費による研究成果の社会実装に向けた知財支援事業)も2024年度から新たに実施する事業である。我が国の競争的研究費制度¹に基づく公的資金が投入され、かつ、革新的な成果が期待される研究開発プロジェクト(国プロ)を推進する大学等や、国プロの資金提供元であり、複数の国プロをマネジメントするファンディングエージェンシーに対し、知財戦略プロ

1 <https://www8.cao.go.jp/cstp/compefund/>

デューサーを派遣し、研究開発成果の社会実装を見据えた戦略の策定及びマネジメント並びに当該社会実装を加速する活動を支援する。

2023年度までの「知的財産プロデューサー派遣事業」からの主な変更点として、以下の点が挙げられる。

- ①支援年数の上限の撤廃（ただし、翌年も継続して支援を受けるためには、年1回の継続審査の通過が必要。）。
- ②国プロの進捗に応じて、必要な時期に集中的な知財支援を行うことが可能に。
- ③より多くの国プロを支援できるよう、ファンディングエージェンシーへの派遣が可能に。

2.5 IPAS（アイパス；スタートアップ向け）



図8 事業ロゴ

IPAS（スタートアップに向けた知財アクセラレーション事業）は、特許庁からの事業移管を受けて2024年度よりINPITで実施する。創業期（シード、アーリー）のスタートアップを対象に、ビジネスを専門とする者と、知財を専門とする者からなる知財戦略プロデューサー（ビジネスメンター・知財メンター）のメンタリングチームが、適切なビジネスモデルの構築とビジネス戦略に連動した知財戦略の構築を支援するものであり、2時間×10回のメンタリングを実施する。

2024年度からの変更点として、応募申請は通年受け付け、採択のタイミングを年2回に増やすことで、スタートアップの利便性の向上を図っている。

2.6 知財戦略エキスパート

知財戦略エキスパートは、企業等での豊富な知財経験を有する知財のスペシャリストであり、INPIT内部で雇用する者である。

当部では、海外展開知財支援窓口、営業秘密支援窓口、スタートアップ知財支援窓口、アカデミア知財支援窓口という専門的な相談窓口を開設しており、知財戦略エキスパートは各窓口へ寄せられた相談に対してアド

バイスを行い、知財課題の解決を支援している。また、シームレスな知財支援を実現するために、iAca、iNat、IPAS、IPランドスケープ支援事業等とも連携した支援を行うハブ役として、大変重要な役割を担っている。

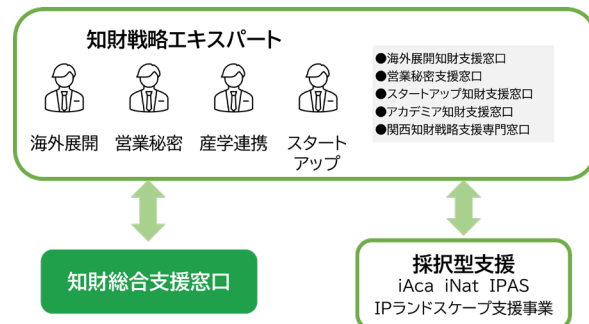


図9 知財戦略エキスパートと専門相談窓口

3 各種知財情報の提供

3.1 開放特許情報データベース

オープンイノベーションを促進する一助として、企業、大学、公的研究機関等が実施許諾または権利譲渡の用意がある開放特許の情報を収録した開放特許情報データベースを提供している。現在約1.8万件の開放特許情報が登録されており、INPITのウェブサイトからどなたでも利用可能である。2024年1月からは、開放特許のライセンスの促進を図るため、登録されている開放特許情報を民間の事業者等が一括してデータ取得できるサービス（バルクデータダウンロード）を開始した。また、簡易操作マニュアルでは網羅できていないデータベースの機能、サービスを紹介するために、「開放特許情報データベースお役立ち活用ガイド」を作成し、同年3月に公表した。



図10 開放特許情報データベース

3.2 新興国等知財情報データバンク

国内企業が様々な海外知財リスクに対応できるよう、アジアを中心に、中東、アフリカ、中南米などの新興国等の知財実務情報を国・地域別、カテゴリー別に整理し

て提供している。現地の専門家に依頼するなどして記事は毎年追加・更新しており、現在約 3600 件の記事を掲載している。企業実務に有益な情報を多く取り揃えているが、例えば、「中国における顧客に好まれない商標および顧客に好まれる商標」、「インドネシアにおける商品・役務の類否判断について」、「ベトナムにおける特許の早期権利化の方法」など、知的好奇心がくすぐられる記事もあるので、覗いていただくと面白い出会いがあるかも知れない。こちら INPIT のウェブサイトからどなたでも利用可能である。

ウェブサイトの「アンケート」を通じて、情報収集を希望する国・地域・テーマ等の要望を受け付けているので、ご要望があればお寄せいただきたい。



図 11 新興国等知財情報データベース

3.3 グローバル知財戦略フォーラム

国内外のビジネス・知財総合戦略の実例を紹介するために、特許庁との共催でグローバル知財戦略フォーラムを開催している。

近年は、オンライン参加も可能なハイブリッド形式で開催している。次回は 2025 年 2 月に開催できるよう準備を進めており、詳細等は準備が整い次第ウェブサイトで公表予定である。

3.4 INPIT コミュニティ形成

知財及び INPIT に関する情報発信を一層充実させるために、2024 年度の後半から、毎月のセミナー開催と定期的な交流会の開催等を実施する予定である。INPIT のファンを獲得しつつ、ファン同士も交流できるような環境を作り、やや壮大な狙いではあるが、知財を取り巻くエコシステムを育てていきたいと考えている。セミナーや交流会に関する情報は、今後新たに作成する専用サイトを通じて情報提供することから、専用サイトが開設されたらぜひメンバー登録（無料）いただければ

幸いである。

3.5 「スタートアップは突然に…」

2023 年 11 月に Web ショートドラマ「スタートアップは突然に…」を公開した（全 5 話、各 2 分程度）。大手企業の契約担当者の罠に落ち、信頼していた研究パートナーにはめられ、不慣れた異国の地でも知財トラブルに見舞われるなど、挑戦のたびに知財が原因で倒産してしまう 3 人組のドラマであり、知財の重要性を知らないと行き着く先は「THE END.」になってしまうという、学びのある物語である。公開後 4 か月で合計約 880 万回再生され、好評をいただいている。



図 12 スタートアップは突然に…

4 おわりに

INPIT 法の一部改正を含む「新たな事業の創出及び産業への投資を促進するための産業競争力強化法等の一部を改正する法律（令和 6 年法律第 45 号）」が本年 6 月に公布された。助言が法定されるなど種々重要な内容が含まれるが、INPIT にとって最も大きな改正点は助成金の交付が新たに可能となることであろう。今後は、これまで以上に INPIT に対する期待が高まることが予想される中、知財戦略部としても、攻めの姿勢で時流に即した支援サービスを提供して貢献していく考えである。本稿で紹介した当部の支援サービスはいずれも無料であることから、積極的にご利用いただければ幸いである。

参考文献

ウェブサイト

・ IP ランドスケープ支援事業

<https://www.inpit.go.jp/katsuyo/ipl/index.html>

・ iAca

https://www.inpit.go.jp/katsuyo/ip_academia_haken/index.html

・ iNat

<https://www.inpit.go.jp/katsuyo/ipsupport/index.html>

・ IPAS

<https://www.inpit.go.jp/katsuyo/ipas/index.html>

・ 知財戦略エキスパート

https://www.inpit.go.jp/katsuyo/gippd_madoguchi/index.html#anchor1

・ 開放特許情報データベース

<https://plidb.inpit.go.jp/>

・ 新興国等知財情報データバンク

<https://www.globalipdb.inpit.go.jp/>

・ グローバル知財戦略フォーラム

https://www.inpit.go.jp/katsuyo/gippd_forumkokunai/index.html

・ 「スタートアップは突然に…」

<https://www.statotsu.inpit.go.jp/>